

おぢや



市議会だより

OJIYA CITY ASSEMBLY

NO. 61

23.7.25

編集発行
小千谷市議会
☎83-3505



小千谷市工業用水道浄水場

小千谷市の工業用水道は、半導体製造企業の誘致に伴い、昭和60年2月から給水が開始されました。現在、契約水量15,950m³/日で、千谷工業団地内企業4社に給水しており、ガス水道局内で遠隔操作により監視しております。

これまで、信濃川から取水する水利権は暫定的なものでしたが、昨年、安定水利権が取得でき、企業各社へ安定した給水ができることとなりました。

- 第2回臨時会議決結果 …… P2
- 議長・副議長あいさつ … P2~3
- 第2回定例会議決結果 …… P3
- 常任委員会報告 …… P3
- 一般質問 …… P4~6
- 議会日誌、雪あかり …… P7
- 編集後記 …… P8

—主な掲載内容—

平成二十三年小千谷市議会
第二回臨時会
議決結果

五月十一日に開催され、正副議長の選挙、議会構成の決定、専決処分の承認等が行われました。

なお、今回から二常任委員会制となりました。

条例の制定

●専決処分（小千谷市国民健康保険税条例の一部改正）
 （起立多数）

予算の補正ほか

●専決処分（平成二十二年度小千谷市一般会計補正予算（第八号））
 （全会一致）
 ●専決処分（平成二十三年度小千谷市一般会計補正予算（第一号））
 （全会一致）
 ●契約の締結について（南中学校校舎耐震補強、大規模改造（建築主体工事））
 （全会一致）

議会構成等

▽議長 久保田久栄
 ▽副議長 柳田宏光

総務文教委員会



委員長
 本田 剛



副委員長
 田中 淳



久保田陽一



阿部 正行



長谷川有理



風間 健一

民生産業委員会



柳田 宏光



吉原 正幸



委員長
 山賀 一雄



副委員長
 吉崎 進



山本 道男



川上 直栄

議会運営委員会



久保田久栄



風間 順一



安達 稔



横田 外一

委員長 風間順一

副委員長 風間健一

山賀一雄、田中淳、本田剛、

吉原正幸、安達稔

▽魚沼地域特別養護老人ホーム

組合議会議員 柳田宏光

▽新潟県後期高齢者医療広域連

合議会議員 山賀一雄

▽農業委員会委員

安達 稔、横田 外一

▽小千谷市監査委員
 吉原 正幸

就任あいさつ

議長 久保田 久栄



このたび、議員各位の御推挙によりまして市議会議長に就任いたしました。身に余る光栄に存じますとともに、その責任の重大さを痛感している次第でございます。

昨年、小千谷市議会は、議会全般に渡り諸種検討を加え、一般質問への一問一答式の採用、政務調査費の全面公開などの改革を行いました。議会を取り巻く情勢も厳しさを増しておりありますが、行政や議会に対し市民が何を期待し、求めているかを的確に判断し、さらに精進してまいる所存でございます。

私は、議会の信頼の保持に全力を傾け、公正にして分かりやすい議会運営を心がけてまいります。

ます。

どうぞ、市民の皆様の絶大な御支援、御鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。就任の御挨拶といたします。

副議長 柳田 宏光



この度、浅学非才な私が副議長という大任にご推挙いただきましたことは、この上ない光栄であります。

お受けした以上は、職務を全うすべく、初心を忘れず誠心誠意務めさせていただきますと思っております。

副議長は、議長を補佐する職であることを念頭におきながら、議会が公正かつ円満に運営されるよう、持てる限りの力を注ぎさせていただきますと思っております。つきましては、議員、市民の皆様のご指導、ご鞭撻を賜りますことをお願いいたします。就任のあいさつとさせていただきます。

平成二十三年小千谷市議会 第二回定例会 議決結果

六月九日から二十四日まで開催され、次のとおり議決されました。

条例の改正

- 小千谷市税条例の一部を改正する条例 (全会一致)
- 小千谷市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区条例の一部を改正する条例 (全会一致)

予算の補正

- 平成二十三年度小千谷市一般会計補正予算(第二号) (全会一致)

その他

- 小千谷市公平委員会委員の選任 (全会一致)
- 小千谷市固定資産評価審査委員会委員の選任 (全会一致)
- 小千谷市農業委員会委員の選任による委員の推薦 (全会一致)
- 三十人以下学級実現、義務教

育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願 (全会一致)

発議

- 三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書 (全会一致)

常任委員会報告

総務文教委員会



委員長 本田 剛

本委員会に付託されました議案二件、請願一件について、うち議案第四十五号については民生産業委員会との連合審査とし、慎重に審査を行いました。

○議案第四十三号 小千谷市税条例の一部を改正する条例の制定について

本案は平成二十三年三月十一日に発生した東日本大震災の被災者の負担の軽減を図るため、地方税法の一部改正が行われたことに伴う改正であります。

採決の結果、異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

○議案第四十五号 平成二十三年度小千谷市一般会計補正予算(第二号)について

今回の補正は、七千百七十九千円を追加するものであります。

放射線量測定器の有効活用や、放射線防護服等の検討等の意見があり、採決の結果、全員異議なく原案のとおり可決すべきものと決しました。

○請願第三号 三十人以下学級実現、義務教育費国庫負担制度拡充に係る意見書の提出を求める請願について

本請願は採決の結果全員異議なく、採択すべきものと決しました。

民生産業委員会



委員長 山賀 一雄

本委員会に付託されました議案一件について、慎重に審査を行い原案のとおり可決すべきものと決

しました。

○議案第四十四号 小千谷市農業委員会の選挙による委員の定数及び選挙区条例の一部を改正する条例の制定について

本案は、選挙区の区域の表示を、地番表示から町名表示に改めるものです。

議会中継

市議会本会議は市ホームページからインターネット中継でご覧いただけます。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

第2回定例会からは録画中継もご覧いただけるようになりました。

(本会議開催日のおよそ5日後から、翌定例会の初日の前日まで)



市政の内容を聞く

一般質問

全戸にヨウ素剤の配布、子育て支援など

風間 健一 議員

質問 「安定ヨウ素剤」を予防的に内服しておく、それ以後のヨウ素の取り込みが阻害されることで、放射線障害の予防が可能であります。小千谷市も全戸にヨウ素剤の配布をして頂きたい。

答弁 県の地域防災計画の見直しを待つて判断したい。

質問 小千谷市は小学校卒業まで通院の医療費助成を三人以上という人数制限をしています。県内では人数制限しない、ある

いは中学校卒業まで支援している市町村は八割に及んでいます。人数制限を外した場合の予算は約一千九百万円です。小千谷市も三人という人数制限を廃止して頂きたい。また医療費の一部負担金の軽減をして頂きたい。

答弁 人数制限の撤廃も一部負担金の軽減も今のところ考えておりません。



質問 保育料の引き下げや延長保育料の引き下げをして頂きたい。

答弁 当市の保育料が高すぎるという状況にはないため、引き下げや延長保育料の引き下げはしません。

質問 『前年に比べて収入が減少したり、世帯の負担能力に著しい変動が生じ、費用負担が困難であると認められた場合は、当該年の課税額を推定し、保育料の階層区分の変更を行って差し支

えない』という厚生省通知があります。この通知による保育料の減免取扱要綱を作って頂きたい。

答弁 当市も規則に減免規定を設けて対応しており、特別な取扱要綱を策定する必要はないと考えている。

質問 小千谷市の住宅リフォームの助成は終了しました。今年度再び2次募集をして頂きたい。

答弁 需要を勘案し、来年度の事業として検討します。

東日本大震災に起因する問題について

田中 淳 議員

質問 東京電力福島第一発電所の放射能漏れ事故が当市に及ぼす直接的被害と経済に及ぼす事項について伺います。

①安全性の検証について
②柏崎・刈羽原子力発電所と福島第一発電所の構造体の差異について

③想定される津波の高さに対しての柏崎・刈羽原子力発電所の防波対策と計画は

④当市において自家発電という意味あいから、太陽光発電等の

取組みは
⑤節電による計画停電が実施された場合、市内企業への対応策は。

⑥市況の先行きについて、また経済振興策・支援策について

答弁
①今後、原子力発電所に関して、EPZの見直しがあれば情報が得られるように求めていく。
②極めて専門的な問題であり、当市として比較検討ができる資料を持っておらず、今後勉強をしてみたい。

③一号機から四号機の海岸線に擁壁タイプの防潮堤を設置し、海抜十二m程に設置されている五号機から七号機の海岸線道路部分に盛土タイプの防潮堤を設置するとの説明がありました。

④市では現在、平成二十三年度事業として、「太陽光発電実証データ収集事業」を進めています。

⑤市と商工会議所が中心となり、東日本大震災に起因する事態、事象に的確に対応するため、小千谷市東日本大震災対策連携協議会を五月十六日に設置しました。

⑥今後の支援策については、景気動向を見極めつつ、四月に拡充・創設した中小企業経営安定

資金などの制度融資の有効活用を努めるなど、引き続き適切な対応をしてみたい。

エネルギー問題と教育問題について

阿部 正行 議員

質問 市民生活において誰もが「もったいない」精神のもとに心がけているエコ生活。相まって東日本大震災の影響で特に夏の電力不足が予想される。市内諸施設への太陽光発電など自然エネルギーの活用を考えてはどうか。

答弁 片貝総合センターにソーラー融雪設備を設置して、データを集めている。国の交付金による二分の一の財政支援があるものの、残りは事業主体の負担であり経費が必要となる。また、雪国の事情など、保守管理を慎重に検証したい。

中小河川などの小水力発電も東日本大震災以降、注目されている一つである。当市には急峻な落差のある地形が多いが、年間を通して十分な水量を確保できない点と水利権等解決しなければならぬ課題も多くあり、

現状での導入は難しい。

バイオ燃料については長岡市の「生ごみバイオガス化構想」があり、その取り組みをみて検討したい。いずれにしても震災以降エネルギー問題は社会の大関心事なので、注視しなければと考えている。

質問 高校生への当市の良さのアピールと通学路の確保について。



答弁 通学路の確保については幅員が狭い所もあり、安全ポールの設置や状況に応じて機械除雪等で歩行者の安全に万全を期したい。当市の良さのアピールについては、キャリア教育の充実、職場体験活動、ふるさと学習を通じて周知に努めたい。

大震災関連・男女共同参画について

長谷川有理 議員

質問 東日本大震災について

①自治体スクラム支援会議や使い道を選択できる義援金の募集など当市ならではの使命をもった復興支援を。②大気・水道水・学校給食・浄水汚泥等の放射線測定・EPZ拡大を含む防災計画の見直しなど福島原発事故を受けての緊急課題への対処。

答弁 ①義援金の配分は六月一日に配分検討委員会を設置し検討中。②大気の測定は柏崎刈羽原発事故を想定し当市で計測するもので現在は計測しない。学校給食のモニタリングは出荷元の都道府県で調査済みなので当市では行わない。汚染された浄水汚泥は国の処分基準が確定するまで適正に保管する。関係者以外が触れることはない。今後の防災計画は国や県の計画を基に見直す。

質問 自然エネルギーへの転換支援
①市施設での試験的施策を。
②JR東日本や長岡技術大学等

と連携した山本山周辺の大自然エネルギー推進プロジェクトを。
③今夏における節電施策を市民が参加しやすいものに。



答弁 ①よほどの技術革新がない限り難しい。②JR東日本信濃川発電所との共生策の中で啓発事業には取り組みたいが、山本山周辺に限定したものは考えていない。③良い節電があれば提案してもらいたい。県の活動に準じたい。

質問 男女共同参画条例の制定や市女性職員の管理職への登用、小千谷学生寮の女子入寮など男女共同参画推進を。

答弁 条例の必要性を含めて男女共同参画プランの見直しを行う。平成十七年から女性管理職

が不在だったが、今年度は女性職員を昇格させた。女子の入寮は拒否していない。

原発事故・震災の影響・節電と市民の健康

安達 稔 議員

質問 原発事故について①今回の事故に対する市長の見解は。

柏崎刈羽原発への発言権を確保すべきと考えるが。②今回購入する線量計はどのように扱うのか。③市としても安定ヨウ素剤を確保すべきと考える。④市内の土壌や産品の測定を行い安全性について確認すべき。⑤測定器の貸し出しや購入の斡旋、補助などの考えはあるか。⑥原発事故時における緊急避難体制はどのようなものか。市の防災計画はいつ頃できるのか。⑦東電からは柏崎刈羽原発について何か言ってきているのか。まったく無視されているのか。⑧市民の多くが原発への不安を抱えている。このことに、市長はどのように応えていくのか。

答弁 ①天災と人災の複合災害と考える。発言権は全国市長会の一員の立場で確保すべきと考

える。②万一の事故にそなえたもので、測定値は必要に応じて知らせる。③県の備蓄品を用いる。県が行なうことが適当と考える。④現時点では考えていない。⑤国県の防災計画の見直しを策定されると思う。それを基に進める。⑦東電からの説明はない。⑧重要なエネルギー源であり、直ちに無くすことは出来ない。

質問 節電対策と市民の健康①節電の数値目標は。②自販機はどのように③市全体への呼びかけはどのように。④学校は⑤保育園は園児の健康上制限しないほうがいいのか。⑥幼児や高齢者の暑さ対策はどのように。⑦高温注意情報時の注意喚起はどのように。⑧節電は長期的視点で捉えるべきか。

答弁 ①市としての削減目標は十五%としたい。②飲料各社は管内を三グループに分け冷運転を輪番で停止する。③国県と連携し周知に努める。④市施設に停止せず園児の健康管理を最優先する。⑤エアコンの控えすぎのないよう注意喚起する。⑦市報等で趣旨の周知を行う。⑧国のエネルギー施策のあり方次第と考える。

放射性物質の流出対応と電力不足について

吉崎 進 議員

質問 今回、福島第一原発から大量の放射性物質が流出した。柏崎刈羽原発から小千谷市はほとんどの地域が三十キロメートル以内になるが、放射性物質が流出した場合、国、県の対応とともに小千谷市の対応は。

答弁 小千谷市における年間の平均的風向のある程度の資料はあるが、精密なシミュレーションはしていない。米国スリーマイル島原発事故を契機に「緊急時迅速放射能影響予測システム」いわゆるスピーディーがある。万が一、柏崎刈羽原発から放射性物質が流出した場合、このスピーディーの情報が最も正確で信頼できると考えているので、国県から出される指示やスピーディーの情報により、小千谷市民にとって最も安全で迅速な避難方法を指示したい。

質問 二酸化炭素削減のため、十五パーセントの電力削減は分かるが、原発事故による電力削減で市民に与える影響と東北電力からの説明についてどうか。



節電に協力し看板の照明を消したコンビニ

答弁 家庭への節電は強制的なものではないので市民の生命を危うくしたり、健康に影響を与えるような過度の節電は避けるべきと考える。五月二十日に東北電力長岡営業所長が説明にきた。その後も随時説明を受けている。今後の余震や緊急復旧、技術的リスクを伴うことから一定の余裕を持つ必要がある、十五パーセントの節電としたと聞いている。ディーゼル発電機やガスタービンの設置を検討しているほか、被災した火力発電所の運転再開などにより、さらなる供給力の確保に努めていると聞いているが、震災前の発電量を確保される見込みの時期については、明らかではない。

スポーツ振興と施設整備について

山賀 一雄 議員

小千谷市は、昭和五十四年に健康づくり都市宣言を行い、市民総参加のスポーツ活動・スポーツ施設の整備に取り組んで来た。そして平成二十年にはスポーツ振興計画を策定して「みんながつくるスポーツのまち小千谷」の実現を目指すとしている。

質問 ①スポーツ振興計画には年次計画的なものが無い。どのような計画を想定していたのか。②競技スポーツにおけるトップアスリートの育成に関し、どのような指導環境の整備計画を想定していたのか。③白山運動公園陸上競技場の公認改修事業の時期と内容。④学校での各種競技大会は教育の一環で、その準備に携わることも含まれると理解しているが、教育長の考えはどうか。⑤陸上競技場の改修等はあるか。⑥小千谷ジュニア親善陸上競技大会の参加規模と、大会運営にあたって準備や設備面の不具合はあるか。

市長答弁 ①、②スポーツ振興計画には具体的な整備内容等は触れていないが、振興計画の趣旨を踏まえて総合計画実施計画において、三カ年計画を毎年策定している。総合計画に計上されている屋根付き屋外運動施設は、今後、総合的に判断して検討を行う。③日本陸連公認の第四種競技場として整備改修を行う。④五年ごとの第四種継続公認取得に際し、小千谷陸協から事前要望を聞いているが、それ以外の陳情・要望等は受けていない。

教育長答弁 ④教育の一環であることは理解しているが、学校外で行う競技大会の準備を一部の生徒が行うことや、授業をカックトして生徒に行わせることは、授業時数の確保という点から難しい。⑥昨年の大会では、四十種目二十九団体四百七十一名の参加であった。大会運営にあたっては、陸上関係者等に人的負担を掛けているが、特に不具合はない。



真人大橋架橋について

柳田 宏光 議員

質問 第四次総合計画後期基本計画に「真人大橋架橋計画」が示されているが、後期といえはあと五年しかないが、この五年間にどこまで実行されるかお聞かせ願いたい。

答弁 「真人大橋架橋計画」は、第三次総合計画から引き継いだもので、関係者がこれまでどつた経緯を勘案し、架橋の可否も含め方策について検討を行いたい。

会議録の閲覧

市議会本会議の会議録(平成15年第1回定例会以降)は市ホームページからご覧いただけます。

ただし、平成23年第2回定例会の会議録掲載は、8月末頃となります。

URL <http://www.city.ojiya.niigata.jp>

議会日誌

4月～6月

〈4月〉

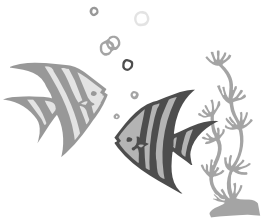
- 7日 北信越市議会議長会定期総会（長野市）
- 17日 市議会議員選挙告示日
- 24日 " 投・開票日
- 26日 議会運営委員会

〈6月〉

- 28日 " 議会報編集委員会
- 28日 南中学校三十周年記念式典
- 30日 上越新幹線活性化同盟会総会（新潟市）

〈5月〉

- 1日 新議員十六人就任
- 2日 議員打合せ会
- 6日 会派代表者会議
- 11日 第二回臨時市議会
- " 総務文教委員会
- " 民生産業委員会
- " 議会運営委員会
- 20日 新議員予算説明会
- " 議員全員協議会
- " 議員クラブ会
- 25日 県特別豪雪地帯市町村議会協議会理事会・定期総会（十日町市）
- 26日 議員市内視察
- 2日 議会運営委員会
- 9日 第二回定例会（本会議）議会報編集委員会
- " 二常任委員会連合審査会
- 10日 総務文教委員会
- 13日 民生産業委員会
- 14日 全国市議会議長会定期総会（東京都）
- 15日 議会運営委員会
- 21日 本会議（第二日）
- 22日 本会議（第三日）
- " 議会報編集委員会
- 24日 議会運営委員会
- 30日 本会議（第四日）
- 柏崎港整備利用促進協議会総会（柏崎市）
- 宮城県議会議員二名視察



来市



大塚 早苗（山寺）



43

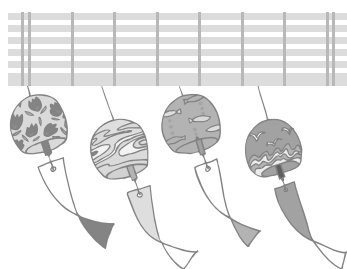
二日目は石巻市の斉藤病院の病棟でお手伝い。オムツ交換では、何でこんなにポタポタ雪が出るようになるまで交換しないのかと聞くと、オムツが無く交換できないとのこと。水も出ず、手洗いも紙コップで一人が掛けてやり、手を洗った水も大きなバケツにためておいてトイレで使用する。切ない思いの一日でした。

三月二十五日から二十七日の三日間JMAT（日本医師会災害医療チーム）の東日本震災被災地の応援に参加させていただきました。わずか三日間でしたが、忘れられない体験をいたしました。

オムツ交換をしていると一人の患者さんが手を引っ張り、両手を合わせて「有難う」と何度も言われる。「貴方の笑顔を絶対に忘れないから」と言われ涙が出そうになりました。帰る前に一緒に記念写真を撮りました。「おばあちゃん、私も忘れません。笑顔で頑張るね。」

三日目は、全身浮腫、硬直の人、ガラスで足を切った人、吐血の人・・・野戦病院と化した石巻赤十字病院の薄暗い廊下を走り回りました。術後のきずの処置と点滴・注射とトイレにも行けず汗を拭く間もないくらいでした。

後ろ髪をひかれる思いで病院を後にし、駐車場の車の間で風を除けて食べたカップラーメンは最高のご馳走でした。



議云を傍聴しませんか

傍聴を希望される方は、議場入口で受付票に住所・氏名・年齢を記入し、傍聴席にお入りください。

(団体で本会議の傍聴を希望される場合や、委員会の傍聴を希望される方は、事前に議事事務局までご連絡ください。)
議場内の配置は下図のとおりです。

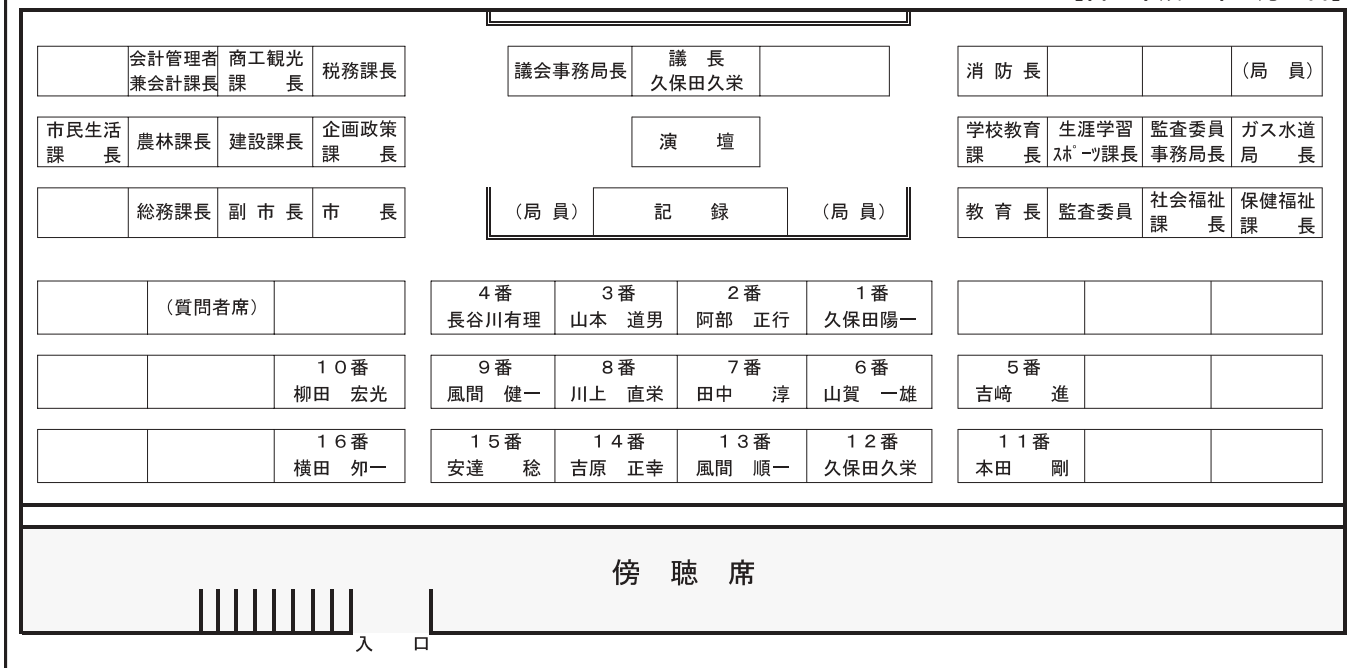
第3回定例会開催予定

- 9月2日(金) 第1日 議案上程説明
- 9月5日(月)～8日(木) 各常任委員会で審査
- 9月15日(木) 第2日 一般質問
- 9月16日(金) 第3日 一般質問(質問者が多い場合に開催)
- 9月21日(水) 最終日 委員長報告、採決

※日程は変更される場合があります。各委員会の日程、議会傍聴については議会事務局(TEL83-3505)へお問い合わせください。

小千谷市議会議場見取図

[自：平成23年5月11日]



編集後記

統一地方選挙後の初の定例会が終わりました。新たに当選した四人を含め、十六人の議員となりました。市民の皆様の負託に応えるべく、小千谷市の発展のため、精いっぱい頑張る所存であります。今後ともご指導、ご鞭撻のほど、よろしくお願ひ申し上げます。

それにしても暑い。七月九日に梅雨明けが発表されました。東北地方も十一日に明け、梅雨のない北海道を含め、日本中が真夏となりました。今年は大雪に始まり、ようやく待ちに待った春が来たかと喜んでいましたら、梅雨入り。毎日蒸し暑い日が続く、どうなるやらとの心配をよそに、夏本番です。上越、魚沼、十日町地域には毎日雷、大雨注意報や警報が出ております。小千谷にも雷注意報が出ますが、夕立が来そうでは来ません。

一雨降ると幾分か涼しくなると思います。積乱雲が小千谷市の上空にかかりそうでかかりません。油蟬も元気に鳴いて暑さをより一層かき立てています。今年も昨年同様の暑さが続くと思うと気が滅入ってしまいます。

また、昨年のように丹精込めて作られた米の等級に影響を与えないかが心配になります。しかし、楽しい夏祭りが各地で始まります。そして花火。今年のおぢやまつりの花火はどのような規模になるのでしょうか。万灯の参加が三町内増える予定と聞いております。

その後、九月には世界一の四尺玉の片貝花火。今年是全国闘牛サミットが片貝花火の開催日に小千谷市で開催されます。全国の方から見ただき、小千谷の宣伝に一役買っていただければとも思います。

とにかくこの暑い夏に負けずに健康に注意し、元気に過ごしたいと思っております。新しい議会だよりの編集委員が決まりました。二年間、よろしくお願ひいたします。

- 編集委員長 吉崎 進
- 副委員長 山賀 一雄
- 編集委員 風間 健一
- 編集委員 山本 道男
- 編集委員 久保田陽一

